



年末年始における火気の使用について

～住宅火災から大切な命と財産を守りましょう～

空気が乾燥し、暖房器具や火気を使用する機会が増えるこの時季は、火災が発生しやすくなっています。

火気を使用する際は、取扱いに十分注意し、ご家庭から火災をおこさないよう、皆さま一人ひとりが火災予防に努めましょう。



住宅火災いのちを守る 10 のポイント



【4つの習慣】～火事を起こさないために～

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストーブの周りに燃えやすい物を置かない。
3. コンロを使うときは、その場を離れない。
4. コンセントはほこりを掃除し、使わないプラグは抜く。

【6つの対策】～もしもの時に備えるために～

1. 火災の発生を防ぐため、安全装置の付いたストーブやこんろを使用する。
2. 火災の早期発見のため、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐため、部屋を整理整頓し、防炎品の寝具・衣類・カーテンを使用する。
4. 火災を小さいうちに消すため、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
5. いざという時のため、避難経路と避難方法を常に確認し備えておく。
6. 地域ぐるみで防火対策を行うため、防火・避難訓練などに積極的に参加する。

住宅火災いのちを守る 10 のポイント本編

(日本語あり)

(消防庁動画チャンネル) (住宅火災いのちを守る 10 のポイント)

(イラスト)



リチウムイオン電池の処理方法の注意！！

近年リチウムイオン電池による火災が増加しており、一般ごみとして廃棄されたリチウムイオン電池が原因で、ごみ収集車やごみ処理場では火災が多発しています。

リチウムイオン電池を含む製品を廃棄する場合は、市役所(環境水産課 生活環境係)又は、お近くの電機店に問い合わせ、正しく廃棄するようしましょう。

○市役所 環境水産課 生活環境係 (73-1219)



◎消防署からのお願い

年末年始を安心して過ごすために、ご家族で話し合い、火災予防の意識を高めましょう